

.....
本会記事
.....

新年を迎えて

新年おめでとうございます。会員の皆様におかれましては、良き新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

当協会は、昨年10月に日本粉末冶金工業会と共催でWORLD PM2024を横浜で開催しました。12年前のPM2012の開催時とは様々な点で変化がありました。12年前は「Additive Manufacturing (AM)」のカテゴリ一名はありませんでしたが、今回、AMのカテゴリには、講演全体の20%に及ぶ講演件数があり、Special Interest Seminar (SIS) や一般のカテゴリで多くの聴講者を集め、活発な質疑応答が行われていました。また、現代社会における大きな取り組みとしても、PMにおけるカーボンニュートラル、DX、リサイクルといったHot Topicsが取り上げられました。また、Hot Topicsとして省資源を掲げただけでなく、12年前とは違い、今開催においては、講演募集からアブストラクトの公開など様々なことが電子化され、ペーパーレスの省資源を実現することができました。技術セッションでは、Oral 258件、Poster 61件、合計319件の発表があり、800名超の参加者がありました。また、展示会は、98社138小間のブースが設けられ、3日間に延べ5000人と多くの来場者があり、活気に満ちていました。論文発表頂いた方、参加を頂いた方をはじめ、論文の査読審査など多くの方にご尽力を頂き、無事盛会のうちに会期終了することができました。改めてここにお礼申し上げます。

さて、WORLD PM2024のProceedingsは昨年12月半ばにWORLD PM2024のWebサイトにて公開しました。こちらは参加者限定の閲覧となりますが、3月半ばに当協会誌のSupplementとして約260件の論文を公開する予定となっています。Supplementの冊子体は作成せず、J-STAGEのオンラインのみの公開となります。J-STAGEの「粉体および粉末冶金」は、CC BY-NC-ND4.0のライセンスのもとオープンアクセスで公開しています。同Supplementの論文は参加者以外の方も閲覧が可能ですので、多くの方に閲覧、引用頂けることを願っています。

2025年度の行事は、昨年同様に粉末冶金講座を開催します。入門講座はオンラインのみで講座を予定しており、4回に分けて2コマずつ、分かり易く解説頂きます。当日の講義は参加者の方にオンデマンド動画で公開予定ですが、昨年までは講義の翌週の5日間のみ公開しておりましたが、今年は講義当日の夕刻より視聴頂けるようになります。講義内容の再確認など、時間をおかず視聴頂けるようになりますので、より活用頂き易くなると思います。また、基礎、実用講座は、12月初め頃にハイブリッドで開催予定です。講師の方に直接、より専門的なことも質問頂けるよう、例年通り対面開催も行いますが、参加者の利便性を考え、オンライン参加も提供しますので、ご都合に合わせて、参加方法を選択頂きたいと思います。多くのご参加をお待ちしています。

2025年度春季大会は、5月28日～30日に京都大学宇治キャンパスで開催します。既に講演募集を開始していますので、多くのご発表をお待ちしています。2025年度秋季大会は、10月28日～30日まで九州大学百年講堂で開催します。九州での開催は、2020年度にコロナ禍で開催を断念したこともあり、2008年秋以来16年ぶりの開催となります。今からご予約頂きますようお願いいたします。

約3年前から取り組んできている分科会再編については、今年2025年度中にとりまとめ、2026年度より新しい組織体制で活動に入って頂く予定です。この分科会再編をする目的の一つは、会員の方が当会の活動内容をより理解し易く、参加し易いものにするということです。既存の分科会、委員会の統合、改変を検討し、また昨年若手フォーラム企画委員会を立ち上げ、分科会再編を含む協会活動に若い人の意見を取り入れ、活性化していくことを目的とし、現在春秋大会等を利用して調査を行っていますので、会員のニーズに合うものを探し、分科会組織再編につなげて行きたいと思っております。

投稿数の減少や会員数の減少など各学協会の抱えている問題と同様、当協会においても非常に深刻な問題となっています。会員皆様のニーズを調査し、様々な課題に取り組んでいきますので、本年も宜しくお願いします。

(井上羊子)

